



## 特集 ナガイモ・ブロッコリーの 基本技術

### ●ナガイモの原産・来歴と生理・生態

ナガイモとヤマノイモ／ヤマイモ属の原産・来歴と栽培・生産／  
ナガイモの性状と分類／ナガイモの生理,生態的特性

### ●ナガイモの基本技術と生理

ナガイモ寒冷地栽培／ナガイモ普通栽培／イチョウイモ栽培／ツクネイモ栽培／  
ジネンジョのパイプ栽培

### ●ナガイモの生産者事例

北海道・小泉裕亮 とかち太郎 地域ぐるみの種いも生産と十分な輪作による  
ナガイモ経営／青森県・寺澤和夫 3年1作輪作体系のナガイモ経営

### ●ブロッコリーの基本技術と生理

高冷地春まき夏どり栽培／夏まき年内どり栽培／暖地夏まき冬春どり栽培／  
冬まき初夏どり栽培／ブロッコリーの2花蕾どり増収技術

### ●ピーマン・ダイコン・サトイモの新技术

ピーマン台木用品種とその特性／日射制御型拍動自動灌水による露地夏秋ピーマン  
の増収・品質向上と減化学肥料栽培／春どりダイコンのべたがけ栽培技術／べたが  
けによる冬どり露地ダイコンの寒害軽減技術／臭いや黄変が生じないダイコン品種の  
栽培と加工／機械化一貫体系によるサトイモ湛水栽培

# 本書の読みどころ——まえがきに代えて

## 〈ナガイモの原産・来歴と生理・生態／基本技術と生理／生産者事例〉

ナガイモは現場で呼び名が混同されていることが多い。大きくナガイモとヤマノイモに分けられ（植物分類学的にはどちらもヤマノイモ科のヤマノイモ属）、ナガイモは、さらに、いもの形からナガイモ群、イチョウイモ群、ツクネイモ群に分けられ、ヤマノイモはジネンジョのことである。本書では、この名称でまとめた。

さて、そのナガイモ、イチョウイモ、ツクネイモ、ジネンジョを含むヤマノイモ属の作物の作付け面積は2005年以降減少傾向が続いているが、興味深いことに、収穫量と出荷量は2019年、2020年と持ち直している。これは、ナガイモの最大産地である北海道の収量が引き上げられているようだ。北海道では近年、いもが太く、収量性が高い品種‘とちかち太郎’の普及が進んでいる。北海道のナガイモ生産がヤマノイモ属全体の生産を牽引しているといえそうだ。

本書では、その北海道のナガイモ栽培の基本技術や、産地の帯広市川西長いも生産組合の生産者事例のほか、もう一つの主産県である青森県のナガイモ栽培の基本技術と生産者事例を収めた。このほか、イチョウイモ栽培、ツクネイモ栽培、ジネンジョのパイプ栽培の基本技術をまとめて収録した。

## 〈ブロッコリーの基本技術と生理〉

ブロッコリーは、堅調な消費、水田転作、加工・業務用需要の拡大を受けて、野菜の中で作付け面積が最も増加しており（10年で20%増）、加工・業務用での国産シェア奪還に向けた取り組みも進んでいる。

本書では、ブロッコリーの主要な4つの作型である、高冷地春まき夏どり栽培、夏まき年内どり栽培、暖地夏まき冬春どり栽培、冬まき初夏どり栽培について、生産量上位の産地の基本技術と生理的知見を収録した。

また、画期的な2花蕾どり増収技術を収録。L字仕立て2花蕾どり技術は、頂花蕾を収穫後、4～5月の端境期に側花蕾を収穫でき、収穫個数を約70%増加させられる。V字仕立て2花蕾どり技術は、頂芽を摘心して11～1月に2本の側枝から側花蕾を2個収穫でき、収穫個数を約60%増加させられる。

## 〈ピーマン・ダイコン・サトイモの新技術〉

ピーマンは、台木用品種の最新知見のほか、品質と収量を向上させつつ化学肥料を減らせる日射制御型拍動自動灌水の技術を収録した。

ダイコンは、べたがけを用いた春どりの省力生産と冬どりの寒害軽減技術、臭いや黄変が生

じない加工・業務用の新品種を紹介した。

また、栃木県の機械化一貫体系によるサトイモ湛水栽培も収録。サトイモは高収益が期待できる土地利用型園芸作物として注目だ。

なお、これらの記事は「農業技術大系野菜編」追録 47 号の内容を転載させていただいた。転載を許諾していただいた執筆者のみなさまに厚くお礼申し上げます。

2022 年 10 月 農文協編集局

# 最新農業技術 野菜 vol.15 目次

本書の読みどころ——まえがきに代えて ..... 1

## ◆ナガイモの原産・来歴と生理・生態

---

ナガイモとヤマノイモ ..... 川崎通夫 (摂南大学農学部) 7  
ヤマノイモ属の原産・来歴と栽培・生産 ..... 川崎通夫 (摂南大学農学部) 9  
ナガイモの性状と分類 ..... 佐藤一郎 (元鳥取大学農学部) 17  
ナガイモの生理, 生態的特性 ..... 佐藤一郎 (元鳥取大学農学部) 26

## ◆ナガイモの基本技術と生理

---

ナガイモ寒冷地栽培 ..... 八木亮治 (北海道花・野菜技セ) 31  
ナガイモ普通栽培 … 平尾陸郎 (株みかど育種農場)・前嶋敦夫 (青森産技セ野菜研) 45  
イチョウイモ栽培  
..... 三浦友治郎 (元神奈川園試)・吉田康徳 (秋田県立大学生物資源科学部) 69  
ツクネイモ栽培  
..... 池内康雄 (兵庫中央農技セ)・福嶋 昭 (兵庫農技総セ北部農技セ) 91  
ジネンジョのパイプ栽培 ..... 政田敏雄・岩政幸人・政田健太郎 (政田自然農園) 139

## ◆ナガイモの生産者事例

---

とちかち太郎 地域ぐるみの種いも生産と十分な輪作によるナガイモ経営 北海道帯広市・  
小泉裕亮 ..... 高田和明 (北海道農政部技術普及課十勝農試駐在) 165  
3年1作輪作体系のナガイモ経営 青森県上北郡七戸町・寺澤和夫  
..... 太田富広 (青森県上北地域県民局農業普及振興室) 178

## ◆ブロッコリーの基本技術と生理

---

高冷地春まき夏どり栽培  
..... 松山幸雄 (長野県専門技術員)・小松和彦 (長野野菜花き試) 191  
夏まき年内どり栽培  
..... 森下俊哉 (愛知県東三河農林水産事務所田原農業改良普及課) 209

暖地夏まき冬春どり栽培	……………	隔山普宣 (JA 全農徳島県本部営農支援課)	220
冬まき初夏どり栽培	……………	林 英明 (神奈川農総研)・山地優徳 (香川農試)	231
ブロッコリーの2花蕾どり増収技術	……………	高橋 徳 (農林水産省農林水産技術会議事務局)	241

## ◆ピーマン・ダイコン・サトイモの新技術

---

### 〈ピーマン〉

ピーマン台木用品種とその特性	……………	松永 啓 (農研機構野菜花き研究部門)	259
日射制御型拍動自動灌水による露地夏秋ピーマンの増収・品質向上と減化学肥料栽培	……………	福嶋 昭 (兵庫農技総セ北部農技セ)	263

### 〈ダイコン〉

春どりダイコンのべたがけ栽培技術	……………	千吉良敦史 (千葉県香取農業事務所)	277
べたがけ被覆による冬どり露地ダイコンの寒害低減技術	……………	千吉良敦史 (千葉県香取農業事務所)	287
臭いや黄変を生じないダイコン品種の栽培と加工	……………	石田正彦 (農研機構本部)	296

### 〈サトイモ〉

機械化一貫体系によるサトイモ湛水栽培	栃木県日光市・日光里芋研究会	……………	松本佳浩 (栃木県下都賀農業振興事務所)	307
--------------------	----------------	-------	----------------------	-----